

木造都市研究会 木愛の会 主催

木の連歌

シリーズ part27

木造都市研究会「木愛の会」は、名古屋を拠点に研究会や見学会、提案など、木造都市実現に向けた様々な活動を行っています。会員募集中。

<http://www.kiainokai.net/>

木の連歌シリーズは、毎回異なる講師をお招きし、それぞれの木に対する思いや作品・研究をご紹介頂き、連歌方式で次の講師に引き継いでいく研究会です。初回は2015年の谷篤子氏（ウィーン工科大学）の講演にはじまり、前回の岡田憲久氏（景観設計室タブラ・ラサ）など「木と建築」に関わる多くの優れた建築家や研究者、実務者をお招きしてきました。第27回目となる今回は、20代の頃美術のフィールドで作品制作をされていたところから、庭の世界に表現の場を移されました溝口達也氏（株式会社ランドスキップ）にご講演頂きます。学生・会員外の方を含め、是非ご参加ください。

2026年8月26日（水）
18:00～19:30

愛知県産業労働センター

(ウィンクあいち12階1207会議室)

参加申込先 GoogleFormsより

<https://forms.gle/2cAjxaZNXABhu7Dm8>

定員30名

(申込期限：8月24日)

参加費 学生・会員：無料
一般：1000円



株式会社ランドスキップ

溝口 達也氏

人為と自然の間

タイムスケジュール

17:30 受付開始

18:00～19:00 溝口氏 講演会

19:00～19:30 ディスカッション

日本には、「人は自然の一部である」という自然観があります。日頃あまり意識することはありませんが、風土に即した暮らしは、風習として生活に根付き、生き方として伝承されてきました。温暖化が進み、環境も変わりつつありますが、私たちは、現代の風土に合った生き方が出来る「ニハ」を追い求めています。それは、人が関わってはじめて成立する場。人も木々も建築も、すべてのものが、風景になる暮らしについての話。

